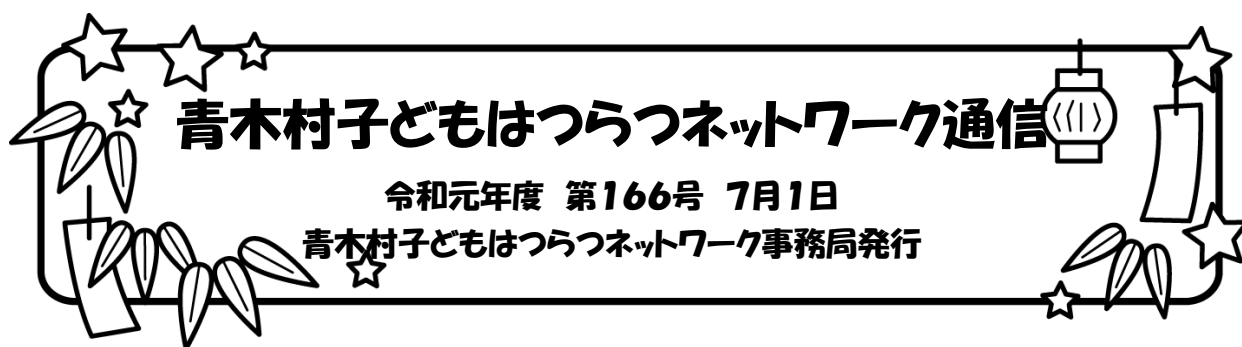




第15回あおきっ子合宿

今年度のあおきっ子合宿は、5月12日(日)～18日(土)の6泊7日文化会館で行われ、青木小学校4年生から6年生の希望者37名と信州大学教育学部と長野大学から35名が参加しました。

今回のテーマは「1UP!～新しいことがまた1つできるようになった自分に～」です。自分の苦手なことが少しでもできるように、昨日よりも今日できることが1つでも増えるように頑張りました。

くつろぎの湯が利用できない月曜日は、ラポート青木へもらい湯に行かせて頂きました。夕食の準備は一般ボランティアの方々と一緒に行いました。小学校の先生方、保護者の皆さん等大勢の方々のご支援により、無事に終わることができました。



合宿をとおして、子どもたちの成長した姿や新しく発見した良い面、感じたことなどを大学生の皆さんにお聞きました。その中の一部を紹介いたします。

★Aちゃんはとても物静かな子で、最終日までほとんど自己主張が見られませんでした。しかし、保護者さんからの手紙を読んで、その日の班のリフレクション発表は自ら挙手し、全体に発表できました。個人的に、班の中で1番成長した子なのではないかと思います。

★通学合宿おつかれさまでした。「子どもを成長させる」ではなく、「子どもと一緒に成長できた」一週間でした。青木の子どもたちはとても素直で、だけど時々元気が爆発してそれでもやる時は一生懸命やっ



ていて、本当にいい子たちなのだと毎日の活動で感じています。

★自由時間とお風呂を並行して行っていたのですが、自分たちのお風呂の時間が近づくと玄関前に集合し、時間ぴったりに入浴できるよう自分たちで時間を意識することができました。(学生よりも早く集まってくれました！)



★学年ごとまとまっていたのが、合宿中は学年をこえて仲良くなっている姿が見られました。また、みんなの前で話すことが苦手な子も、最終的には自分から手をあげて今日の振り返りを話している姿を見ることができ、成長が感じられました。

★今回の通学合宿で感じたことは、子どもにも思いがあるということです。全ての行動の背景にはそうせざるを得ないその子の思いがあるということです。今回の通学合宿での学びを通して、教育の仕事に役立てていきたいです。

★最初は言いたいことを言えなかった子どもたちが、食事の際に遠くにあるサラダをそのサラダの近くにいる人に「とってほしい」「ありがとう」がはっきり言えるようになった。だんだん話すようになった。

★事前の打合わせではじめましてをした時から元気いっぱい、遠慮なんていうものがまるでないなあというのが第一印象でした。その分距離を縮めるのも早く、合宿で再会した時は名字で呼ばれたのは驚きました。



★みんな優しく日が続つにつれてどんどん積極的になっていく姿を見ることができました。自分の班の配ぜんが終わると他の班の分まで配ぜんしてくれる姿も見られた。

★全く無口だった子が最終的には秘密を自分たちにだけ打ちあけてくれたり、全くリーダーシップを発揮しない子が、いつの間にか低学年の

子をまとめて指示を出してくれたり、一週間という短い期間の中で子どもたちの心の成長を見届けることが出来ました。

★始めは自分中心でやりたいようにやっていたが、次第に自分が班長という自覚を持つようになってかメンバーのことを考えるようになり、自分のためだけでなく仲間のために行動できるようになっていた。

保護者の方に合宿についての感想や大学生へのメッセージを書いていただきましたので、その一部を紹介いたします。

★打合せにうかがった時、女の子の多さにびっくり!!息子に男の子が少ないけれど大丈夫か確認したら「誰とでも仲良く協力するのが合宿でしょ!!」という返事。今回で3回目の合宿となり、毎回このような大切な心の成長もさせていただき、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。



★「1UP」という目標がわかりやすく、娘にも「今回こんなこと1UPしてほしいな」と伝えることができ、娘も意識して過ごせたようでした。

★最後の会で「普段あまり喋らない子とかも仲良くできたので良かったです。」という感想を聞いて、娘の1UPを感じられ嬉しく思いました。

★学生さんもほめることばかりでなく、注意すべき点はきちんとしていただきたい。



★合宿で友だちと一緒に過ごしたいと参加しましたが、合宿が終わり帰ってくる途中から友だち・学生さんと別れてしまったことが悲しくて、2～3日「あおきっ子合宿に戻りたい」と泣いていました。(親や家族と離れて過ごして寂しいより大きかったようです。)娘にとってとても楽しいあおきっ子合宿だったそうです。学生さんが参加して

下さったおかげで、合宿ができると思いますので、感謝しています。

★子どもたちは親戚ではないお兄さんお姉さんと過ごすということは、なかなか出来ない体験をさせてもらい、本当にありがたいことです。「自分も大学生になったら、こうやって子どもたちと合宿したりしたい！」そううちの子どもたちは言います。そう思える言えるということは本当にステキな関係を築いてくれたんだな～と思っています。



★ 今まで以上に親のありがたみがわかったようで、進んでお手伝いや自分で出来る事はやってくれるようになりました。

★ 恥ずかしがりやの娘ですが、終わりの会での感想で「大学生の友だちができて良かったです。」と言った言葉に楽しい一週間だったんだなぁと親の不安もふき飛び、合宿に参加させて良かったと思いました。



★去年と今年の約2年間の中での子どもを比べてみると、去年よりも自身や家族に対しての思いが感じられるようになったことを実感しました。参加しなければわかり合えない普通の生活の有難さを本当に感じられたと思います。心の成長が母親にとって、目に見えて教えて頂いたあおきっ子合宿でした。久しぶりに私に甘えてくれて嬉しかったです。

★6年生最後の合宿でした。4、5年は兄と親が「行け！」という形でしたが、今回は自分で「行く！」と。人と関わるのが苦手なほうなので、この合宿は人間性でまた成長したのではと思います。ありがとうございます。

★今まで以上に自分で時間(スケジュール)を計画して使うようになったように感じる。

★お友だちとのかかわりが広がった。

子どもたちに自分が成長できたと思うところや楽しかったこと、お世話になった大学生へのメッセージを聞きました。その一部を紹介いたします。



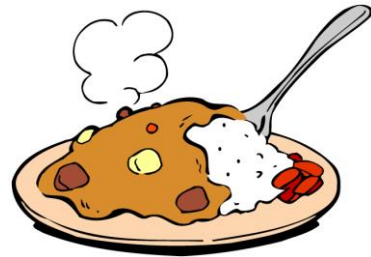
★ 自分から手伝いできるようになった。

★ 家から学校が近くなって良かった。おばけやしきや、夕飯は楽しかった。宿題は大学生が教えてくれてよく分かったし楽しく感じられた。時間を守れるようになった。

★ 他人のことも考えて行動できるようになった。他人のよいところを見つけられるようになった。

★ ふとんを自分でふろしきにつつめたこと。

★ 友だちのために自分から進んで動くことができた。



★ 親から一週間はなれてて、班長をやって1UPがたくさんできたことです。

★ 一週間ありがとうございました。学生に6年生からサプライズでメッセージをあげてうれしんでもらって良かったです。卒業する学生は残念ですけどまだ卒業しない人は冬のだいさんかくに行くので来て下さい。

★ 大学生と一週間すごしてとっても楽しかったし、成長できたこともいっぱいあるの
であおきっ子合宿に行っ
て良かったです。

★ お天気お兄さんお姉
さんでダンスをやって盛
り上げられたこと。

★ コミュニケーション
能力があがった。



★ 初めて合宿に参加して緊張してたけど、学生がたくさん話しかけてくれたから楽しかったです。女子の学生とはいっしょに女子会をしたり、男子の学生にはちょっかいだしたりしてすごく楽しかったです。

★ 親のありがたみが分かりました。



★ この間はありがとうございました。おかげで私は1UPすることができました。たぶん私は楽しかったけど、三役のみなさんや学生の人たちはみんながよろこんでもらえるように努力してつかれたでしょう！去年も楽しかったけど今年は去年よりも1UPしていてとてもおもしろくて楽しかったです。私が一番うれしかったのは最後にもらった色紙でした。また来年も行くので今年よりもおもしろくなっているとうれしいです。がんばってください。

★ 班長や6年生としてリーダーシップの大切さがわかった。

★ はじめは知らない大学生さんでしたが、みんなといるとだんだんとなかよくなれたからよかったし、私の班の大学生さんもやさしくておもしろかったからとても楽しい班でよかったです。一週間ありがとうございました。



編集後記

学生さんたちのアンケートを読ませていただくと、参加した子どもたち一人ひとりの成長した様子がとても良く伝わってきます。保護者の皆さんからは、感謝の気持ちと応援メッセージが沢山寄せられています。来年も多くの子どもたちが参加してくれることを期待します。